

「密閉・密集をふせぐ」

cooTH

ウイルス感染予防のため、IoT・クラウドでできること

密対策の徹底で安全な空間を確保しよう



換気の悪い
「密閉空間」



大勢がいる
「密集場所」

呼気によって増加する「CO2濃度」を見える化！

換気され新鮮な空気で満たされた空間を維持しましょう。

※CO2濃度が高くなると集中力・思考力の低下や頭痛・眠気の原因にもなります。

※温度・湿度も同時に管理して ☆飛沫対策 ☆熱中症対策 ☆その他感染症対策 にも役立ちます。

密回避・換気アラートサービス 「cooTH」

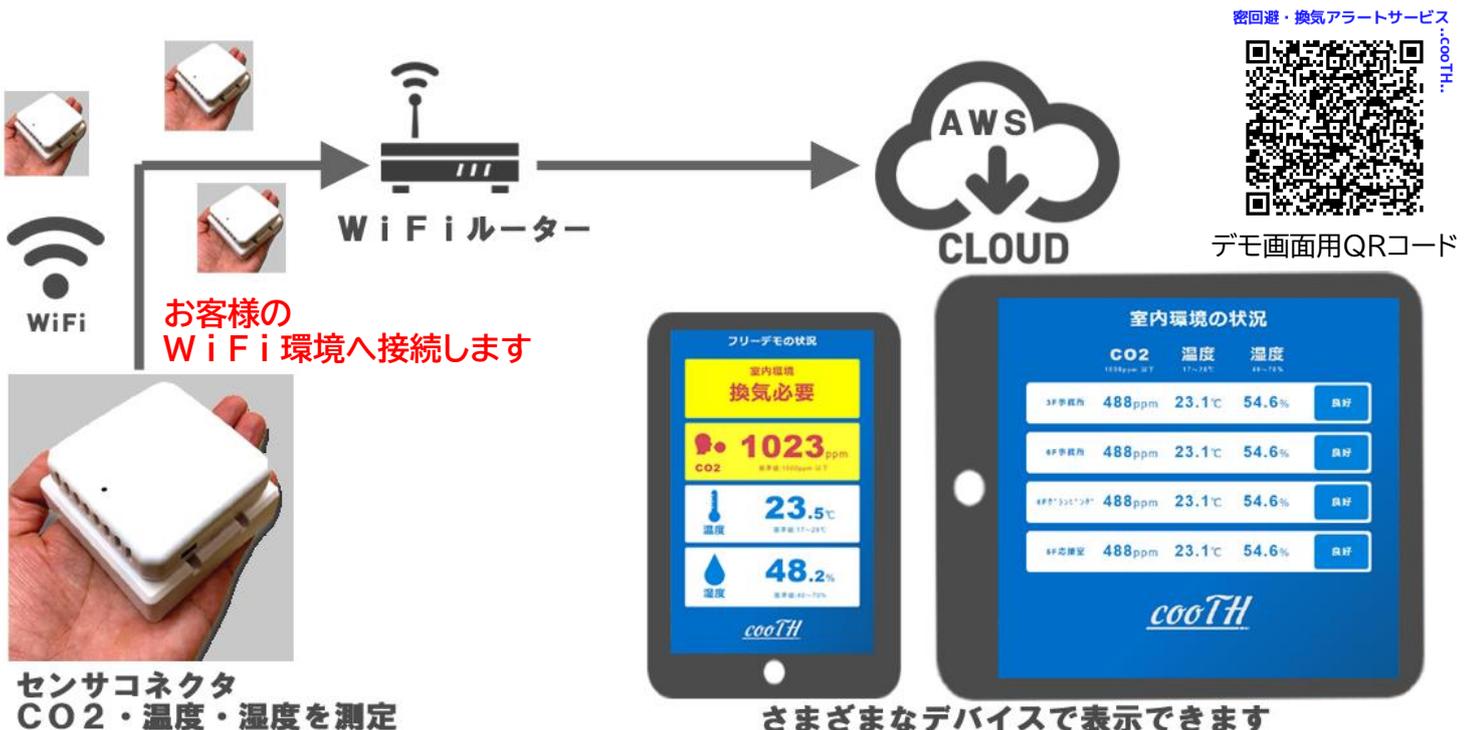
サービス利用料 ¥6,980円(税込)/月・1センサ

※複数センサを使用する場合:センサ個数×¥6,980円(複数センサを一括監視できます)

※最低契約期間:1年間(1年未満で解約する場合、解約金が発生します)

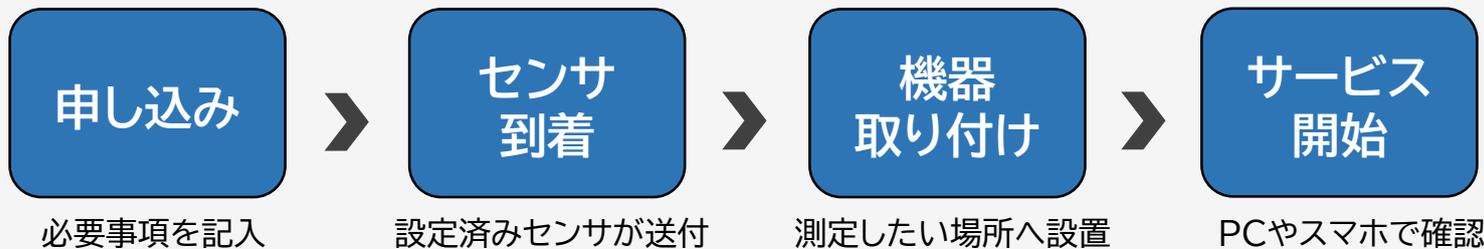
※センサ設置推奨場所:室内(30m²程度まで)、床上40cm ~ 1.5m 程度、
窓や玄関から1m以上はなれた場所、人の呼気が直接当たらない場所

小型のIoTセンサにより室内の「二酸化炭素濃度・温度・湿度」を常時モニタリングすることで、スマートフォン・タブレット・パソコン・サイネージで測定値を確認できます。CO2濃度が1,000ppmを超えるとメール通知を受け取ることが可能です。



QRコードを使って手軽に確認することもできます。(確認したい場所へ貼付け可能)

「設置工事不要で簡単スタート」



「利用シーン」

あらゆるシーンや場所において、密集・密閉の回避に活用できます。



オフィス・会議室



学校・コミュニティセンター



病院・待合室



福祉施設



美術館・博物館



式場・斎場



ジム



イベント会場

測定項目	① CO2 : 0 ~ 40,000 ppm ② 温度 : -40 ~ 70 °C ③ 湿度 : 0 ~ 100 %
判定基準値	① CO2 : 1,000 ppm 超え ② 温度 : 17 °C 未満、28 °C 超え ③ 湿度 : 40 % 未満、70 % 超え ※ビル管理法における空気調和設備を設けている場合の空気環境の基準より
通信方式	無線通信環境: Wi-Fi (2.4GHz帯) ※IEEE802.11b/g/n ! 注意: 5GHz帯のWi-Fiには対応していません
データ保存間隔	1分間隔 ※表示のみ10秒間隔で更新します
データ保存期間	測定日より過去1年間
データ保存場所	AWS (Amazon Web Services)
センサ設定	センサの初期設定は、申込書の内容で出荷時に実施済みです ! 使用するWi-Fi環境が変更となる場合、再設定が必要です(再設定は、センサをご返送いただき、有償での対応となります)
センサ必要電源	AC100V-AC240V (ACアダプタ)
センサ外形寸法	約80(縦) × 約80(横) × 約45(高) mm
センサ重量	約118 g
センサ消費電力	定格 DC5V 0.12A

サービスに関するご不明な点は
お気軽にご相談ください。

株式会社 三弘
✉ iotcloud@sanko-web.co.jp